

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	書 写
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p>第1の観点</p> <p>①目標が「見つけよう」として示されており，その目標を達成させるために，おさえるべき事項が掲載されている。</p> <p>②最初の単元では，書きやすい姿勢（足・背すじ・手）を意識させるために，リズムカルな標語と色を使って示されている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①「見つけよう」では，教材を比較し，気付いたことを生かして書く構成になっている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう，学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元が配列されている。</p> <p>②伝統的な言語文化としての文字の理解に関する内容が全学年で示されている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①第2～6学年に「書写のかぎ」が掲載されており，学習事項のポイントが児童に理解できるよう配慮されている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①日常生活や学校生活に役立つ教材を取り上げて，具体的にイメージしながら学べるよう工夫されている。</p>
教 出	<p>第1の観点</p> <p>①目標が「めあて」として色付きの太字で示されている。</p> <p>②最初の単元では，「はじめの学習」として，用具の準備や姿勢，片付け方について1ページずつ掲載されており，学習の進め方が確認できるようになっている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①「考えよう」ではめあてに沿った文字の書き方を考えるための視点が示されている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①書写で習得した力を教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」の単元で示されている。</p>

	<p>②伝統的な言語文化としての文字の理解に関する内容が全学年で示されている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①「ふり返ろう」が掲載されており、問いかけによって自己評価ができるようになっている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①「レッツ・トライ」のページが掲載されており、書写で学習したことを各教科で生かせるようになっている。</p>
<p>光 村</p>	<p>第1の観点</p> <p>①目標に「どんな関係があるのだろうか」「理由を合わせて考えよう」など、筆順や字形について考えさせる目標が示されている。</p> <p>②最初の単元では、「タブレットを活用しよう」のページが掲載されており、QRコードの活用方法を写真や資料で示されている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①学習の進め方「考えよう」では、話し合いの視点が示されており、対話的な学びを通して学習を深められるような構成になっている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①1教材1目標で示されており、学習を通して身に付ける力が教材名として示されている。</p> <p>②伝統的な言語文化としての文字の理解に関する内容が全学年で示されている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①「たいせつ」が掲載されており、児童が言語と図版によってポイントを理解できるよう配慮されている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①学習活動に必然性をもたせるために、国語科教科書と連動した教材を設定し、国語と一体的に扱えるようになっている。また、第6学年の教科書には、「書写ブック」が付いており、第1～6学年までに学習したことを日常生活に広げられることが示されている。</p>